

第1回 森口佑介さん（上越教育大学）

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第1回目となる今回は、先日、日本心理学会第9回国際賞を受賞された森口佑介さん（上越教育大学）にご執筆いただきました。

「君は世界ランキング何位？」知人の気鋭の神経科学者が、こんな話をします。実際には研究者の世界ランキングなどありませんが、1500万人とも見積もられているテニス人口の中で5位に位置付ける錦織圭選手のことを思うと、研究者の中での自分はまだまだだだと思います。このたび日本心理学会第9回国際賞奨励賞をいただきましたが、この賞を機に精進を続け、飛躍を目指したいと思っています。私は発達心理学者で、実行機能の発達を専門にしていますが、そもそも誰かが作り出した研究領域で最先端の研究をやった気になってはダメで、新しい領域を作るような研究をしないといけないのかもしれない。そのような思いから、最近の実行機能の研究に加えて、「空想の友達（イマジナリーコンパニオン）」という一風変わった、でも魅力的だと思える研究を始めました。一見関係ないようにみえる実行機能と空想の友達を検討することで、子どもの認識についての新しい見方を提示したいと考えています。

森口佑介さん

【ご所属】 上越教育大学 〒943-8512 上越市山屋敷町1 上越教育大学森口研究室

【ご連絡先】 moriguchi@juen.ac.jp

【ホームページ】 <http://www.juen.ac.jp/lab/moriguchi/ic>

【その他】 成人を対象にした空想の友達研究を始め、オンラインで調査をしています。多くのデータを必要としているので、上記ホームページからご回答いただき、また、ご周知いただくと幸いです。

次回のコラムリレーは、古川洋和（Hirokazu FURUKAWA）さん（鳴門教育大学）です。